

町長
あびる館の温泉管理については、入浴施設を安心して利用していただけるように、レジオネラ菌の発生防止のため、今日まで努力

最近、循環式浴槽などでレジオネラ菌による被害が県内外で発生しているが、本町あびる館の温泉の設備の機能と管理体制は十分であるか伺います。



あびる館

宮之脇金次郎議員

レジオネラ菌対策は万全で基準はクリア

してきた経緯があり、残留塩素測定を1日3回、細菌の検査を昨年8月と本年2月に実施し、いずれも、100ml中にレジオネラ菌が10未満で厚生省の指定基準をクリアしている。

検査箇所は和風主浴、地下タンク、露天風呂、薬草湯、歩行浴、洋風風呂の5カ所と合わせて10カ所を検査した。いずれも結果は陰性で、基準をクリアしていた。



レジオネラ菌対策は万全に行われているあびる館

浴槽の清掃は、毎日入れ替え、排水して清掃する形をとっており、毎日1時間30分以上かけて高圧洗浄機で徹底して洗浄している。ろ過装置には砂を使い、それも15ミリから12ミリ、5ミリ、そしてもっと小さいものといったような何段階もの層でろ過している。

学校備品の紛失と管理は管理体制等を強化

川口憲男議員

青少年教育



防犯対策がとられる鶴田中学校

町内の学校で学校備品の紛失事件があったと聞くが、その状況等、また、管内の青少年が関与していたと聞く。そこで①学校備品等の管理状況について ②青少年教育を考えるとときに、様々な問題提起がなされているように感じている。今後の取組みについて考えを伺います。

学校教育においては、全教育活動を通じた道徳教育の充実、心に届く生徒指導の充実、心身共に健やかでたくましい気力、体力づくりの推進に努めています。高校生においては父母の会等を通じ親子の絆を考える講演会を実施しました。

今後においては、こども会大会、青少年育成の日、家庭の日等を中心に家庭、学校、地域社会等が一体となった青少年教育活動を推進していきたい。

地球温暖化

高嶺虎男議員

住民啓発への進め方は森林保全が第一



CO2削減の有力な手段は森林保全であるといわれている

住民生活から排出される二酸化炭素(CO2)等の温室効果ガスによる地球温暖化は異常なテンポで進み、このまま放置すれば地球環境の破壊を起し、環境研究者の提言によると、20年後には地球上の生物の生存が危ういと警告されています。

国県でも持続可能な生存循環社会の保全運動が始まった。本町の取組や住民啓発の進め方の具体策、節電省エネ、

町長
この問題への取り組みとしては、まず森林を守ることでCO2削減への有力な手段であり、本町が有する豊かな森林の保全を図ることが第一と思っています。

また、町広報誌の活用や各種会合など、啓発に積極的に取り組む必要があると思っています。

省エネ対策としては、本庁舎内で昼休み時間の消灯・夏場のノーネク



現在の鶴田小学校の駐車場

鶴田小では事あるたびに駐車場の狭さによる出入りの不便に悩まされています。早急に拡大されたい。また、進入路は一本線で有事の出来事を考慮して、裏門迂回道の改良が望まれているが考えを伺います。

教育長
来訪者の駐車場として体育館前にスペースを確保しており、今のところ不自由をきたしてはいません。

学校行事などの場合は、体育館裏から手前まで駐車できるので、学校敷地内の駐車場は大は財政上からも厳しい状況であります。

町長
裏門の迂回路は本年3月町道認定をしていただき、当面は道路作業班などにより定期的な維持管理し、機能が果せるようにしたいと思っています。

小
田
高嶺議員

駐車場等の整備を現状で対応

タイ運動などに努力しています。

低公害車の利用は、

関心は持っていますが、ところ購入する予定はありません。

買替えのタイミングもあり、財政上からも今の